

# 香港株式市場フラッシュ

## 金・銅価格の高騰と中国主要金鉱・銅鉱株

リサーチ部 笹木和弘

Tel: 03-3666-6980

E-mail: [kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp](mailto:kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp)

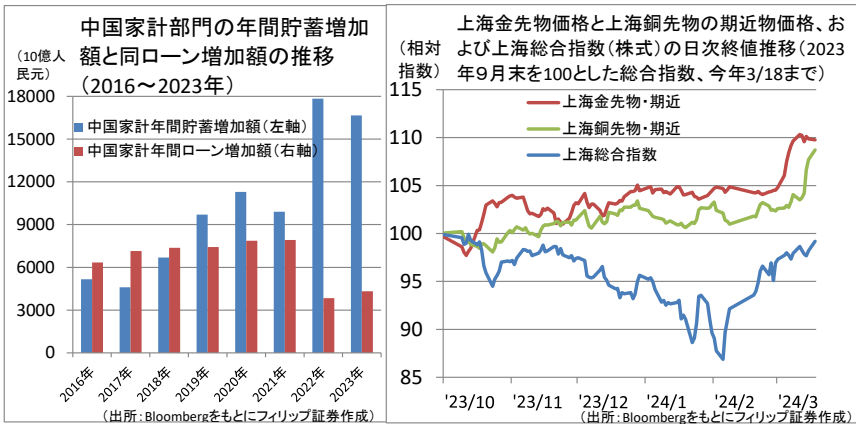
フィリップ証券株式会社

2024年3月21日号(3月19日作成)

### ”中国要因の金価格と銅価格の高騰“

中国の家計では資産の中心が不動産であり、それに株や金(ゴールド)も加わる中で不動産不況の深刻な悪化や中国株の低迷を受けて実物資産の金の投資妙味が増している。家計の貯蓄およびローンの年別の新規増加額の推移を見ると、2016~18年まではローン金額が貯蓄額を超えていたが、2019年以降に逆転し、新型コロナ禍に不動産不況の影響が加わった2022年以降は大幅な貯蓄超過となっている。それは家計部門の投資余力拡大していることも意味する。中国では海外資産への投資は規制により容易ではない一方、ゴールドはSGE(上海金取引所)で人民元建て取引ができ、SGE指標価格も国際的認知度が高まっている。個人の金買い加速も期待されよう。

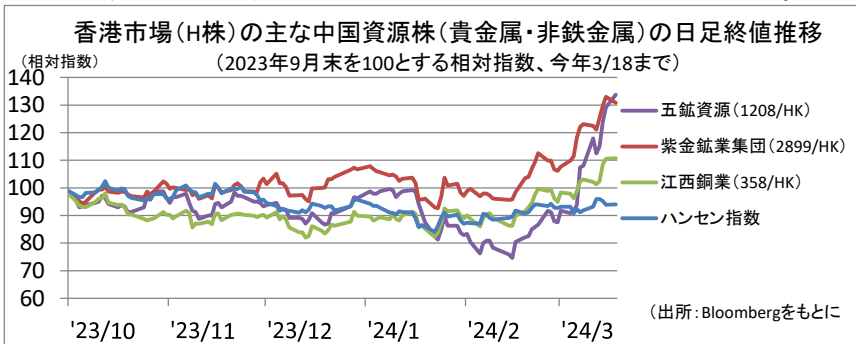
中国の大手銅精錬会社は3/13、原材料不足に対応するため一部の赤字工場で異例の協調減産を実施することで合意したと発表。減産率や量は各精錬所が独自に判断すること。今年下半期に中国以外の精錬所プロジェクトが年間約170万トンも新規稼働が予定されていることから世界の銅精錬供給に更なる圧力がかかると見込まれることもあり、上海先物取引所の銅価格も急伸している。



### ”足元の株価が堅調な中国の主要な金鉱・銅鉱株“

上海の金と銅の先物取引は国際相場としても影響力が強いことから、中国の金や銅を採掘・生産する企業も株式市場で注目度が高まるだろう。中国政府系の非鉄鉱山会社である**五鉱資源[EMM]**(1208 香港)は南米、アフリカ、豪州を中心に銅・亜鉛を中心に鉛・金・銀などの採掘と精錬を行う。中国最大規模の金鉱山である紫金鉱山(福建省)のほか多宝山銅鉱山(黒龍江省)などを擁する**紫金鉱業集団[スズン・マイニング・グループ]**(2899 香港)、中国最大の総合銅メーカーで中国(かつアジア)最大級の露天掘り銅鉱山である徳興銅鉱(江西省)のほか坑内掘りの武山銅鉱などの鉱山を保有し銅の精錬で国内最大級の工場を持つ**江西銅業[ジャンシー・コパー]**(358 香港)などの株価も今年2月以降、上げ足を強めている。

Bloombergによる市場予想PER(株価収益率)は、五鉱資源が18.78倍、紫金鉱業集団が17.02倍、江西銅業が6.93倍。香港ハンセン指数(銅8.08倍)との比較では同指数が不動産企業の比率が高いことを鑑みると割高ではないだろう。



### ハンセン指数またはハンセンテック指数構成銘柄(全96銘柄)における終値の昨年末来騰落率

基準日: 20240319

順位	2023年末来騰落率・上位10銘柄 (%)	前回順位	
1	信義光能[シンイー・ソーラー]	40.4	5
2	中国海洋石油 [CNOOC]	36.3	1
3	中国石油天然気 [ペトロチャイナ]	24.0	4
4	携程旅行網 [トリップドットコムグループ]	23.1	2
5	紫金鉱業集団[スズン・マイニング・グループ]	20.8	18
6	Haidilao International Holdi (海底撈)	20.2	40
7	華潤電力控股[チャイナリソース・ホールディングス]	19.2	8
8	網易 [ネットイース]	16.9	3
9	中国聯通 [チャイナ・ユニコム]	13.7	7
10	中国宏橋集団[チャイナ・ホンチャオ・グループ]	11.6	32

順位	2023年末来騰落率・下位10銘柄 (%)	前回順位	
96	薬明生物技術[ウーシー・バイオロジクス・ケイマン]	-53.0	91
95	蔚来汽車[ニオ]	-41.1	96
94	Ping An Healthcare and Techn (平安好医生)	-31.4	95
93	小鵬汽車	-29.8	94
92	中升控股 [フォンサン・グループ・ホールディングス]	-29.8	87
91	SenseTime Group Inc (商湯集団)	-24.2	85
90	ZhongAn Online P&C Insurance	-24.0	93
89	新世界発展 [ニューワールド・デベロップメント]	-23.8	88
88	舜宇光学科技(集団) [サニー・オプティカル・テクノロジー]	-22.3	90
87	中国海外発展 [チャイナ・オーバーシーズ・ランド&インベスト]	-21.0	79

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

### 【2024年3月: 中国主要経済指標】

- 3月7日(木)
    - ・2月外貨準備高: 前回3.21兆USD、結果3.22兆USD
    - ・1-2月貿易収支: 前回(12月)+753.4億USD、結果+1251億USD
    - ・1-2月輸出<前年同月比>: 前回(12月)+2.3%、結果+7.1%
    - ・1-2月輸入<前年同月比>: 前回(12月)+0.2%、結果+3.5%
  - 3月9日(土)
    - ・2月消費者物価指数(CPI)<前年同月比>: 前回▲0.8%、結果+0.7%
    - ・2月生産者物価指数(PPI)<前年同月比>: 前回▲2.5%、結果▲2.7%
  - 3月15日(金)
    - ・2月資金調達総額: 前回6.50兆元、結果8.06兆元
    - ・2月新規人民元建て融資: 前回4.92兆元、結果6.37兆元
    - ・2月マネーサプライM2<前年同月比>: 前回+8.7%、結果+8.7%
    - ・2月新築住宅価格<前月比>: 前回▲0.37%、結果▲0.36%
  - 3月18日(月)
    - ・1-2月小売売上高<前年同月比>: 前回(12月)+7.4%、結果+5.5%
    - ・1-2月工業生産<前年同月比>: 前回(12月)+6.8%、結果+7.0%
    - ・1-2月不動産投資<前年同月比>: 前回(1-12月)▲9.6%、結果▲9.0%
    - ・1-2月固定資産投資<前年同月比>: 前回(1-12月)+3.0%、結果+4.2%
    - ・1-2月住宅販売面積<前年同月比>: 前回(1-12月)▲6.0%、結果▲24.8%
    - ・2月調査失業率<前年同月比>: 前回(12月)5.1%、結果5.3%
  - 3月20日(水)
    - ・1年ローン・プライムレート: 前回3.45%
    - ・5年ローン・プライムレート: 前回3.95%
  - 3月27日(水)
    - ・1-2月工業利益<前年同月比>: 前回(1-12月)▲2.3%
  - 3月31日(日)
    - ・3月製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回49.1、
    - ・3月非製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回51.4
  - 4月1日(月)
    - ・3月(財新)製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回50.9、
  - 4月3日(水)
    - ・3月(財新)サービス部門PMI: 前回52.5、
- (出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

＜日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項＞

- ・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。